### 2021.6.11





## 調査概要

### 「新型コロナウイルスの影響によるシングルマザーの就労・生活調査」

### 初回調査(有効回答者数:1814人(確報)、2020年7月)

✓ シングルマザー調査プロジェクトは、シングルマザー当事者団体・支援者団体のメールマガジンを登録している会員シングルマザーを対象に、2020年7月にWEB調査を行い、約1800人の有効回答をもとに、2020年8月28日に速報リポート、10月20日に集計表(確報)を発表しました。

### パネル調査 (対象者数:539人、2020年8月~2021年7月)

- ✓ その後、7月調査の回答者で「1年間の毎月パネル調査に協力しても良い」と申し出てくれた方のうち、①母子のみで暮らしている、②公的年金(遺族年金・障害年金・老齢年金)を受けていない、②生活保護を受けていない、④児童扶養手当を受けている、という方(7月調査現在)を対象に、毎月パネル調査を行っています。
- ✓ 新型コロナウイルスの感染状況の違いや自治体独自の支援策を踏まえて、「東京」在住者と「東京以外」在住者を同程度に選定し(東京252人、東京以外287人)、毎月、同じ方に、調査依頼をしています。
  - ※WEBフォームで作成した調査の回答をメールで依頼、WEBフォームで回答

### シングルマザー調査プロジェクトとは

シングルマザー調査プロジェクトは、コロナ禍によってひとり親世帯が困窮する現状に問題意識を持った、ひとり親支援団体、ジェンダー政策の専門家、研究者らによって発足しました。 脆弱な状況にあるひとり親が、子どもを育てながら十分な給与を得られる安定した仕事に就き、子どもの学びや教育へのアクセスを保障できるよう、緊急支援に加えた恒常的な支援の拡充および政策を実現するために、コロナ危機がひとり親に及ぼす影響を示すデータ収集をしています。

## 課題別レポート 家庭でのオンライン学習の課題

-GIGAスクール構想における「学びの保障」

## 主な内容

- 1. **学習用ICT機器 (パソコン・タブレットなど) の配布状況** 2021年2月時点でICT機器が配布された(配布予定)の世帯は約半数であった。
- 2. **インターネット環境**

2021年2月時点でインターネット環境が十分でない世帯は約4割にのぼり、通信料の負担などを心配する声も多い。

3. **子どもの学習スペース** 

自宅学習の基盤として、約半数の世帯は子どもが落ち着いて学習できるスペースがない。

4. 子どもの学習サポート

ICT機器の使い方がわからず困っている親や、就労時間が長く子どもの学習を家庭でサポートすることが難しい。

## 家庭でのオンライン学習を成立させるために

現在進められている「GIGAスクール構想」では、コロナ禍でオンライン授業を行う学校が増えるなか、「1人1台端末」の実現や家庭でも繋がる通信環境の整備などハード・ソフト・人材を一体とした整備を加速することで、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境を実現することが目指されている。家庭でのオンライン学習を成立させるためには、端末配布に加えて具体的にどのように学習環境を整える必要があるのか。必要な要件の仮説を立て、データによる検証を試みた。



1. 学習用の ICT機器がある (1) ICT機器の保有状況 P5

(2) 学習用ICT機器の配布状況 P6

(3) 安心してICT機器を使える環境 P7-9



 適切なインター ネット環境がある (1) 家にインターネット環境がある P10

(2) 通信料の負担 P11

(3) 通信料負担に関する親の声 ...... P12



3. 子どもが落ち着いて 学習できる環境がある

(1) 子どもが落ち着いて学習できる スペースがある

..... P13



4. 子どもの学習 サポートがある (1) ICT機器の操作をサポートする 人がいる

··· P14

(2) 子の家庭学習を見守り、 サポートする人がいる

P15-17

◆最新状況(2021年5月現在) - 第4波の広がり

P1

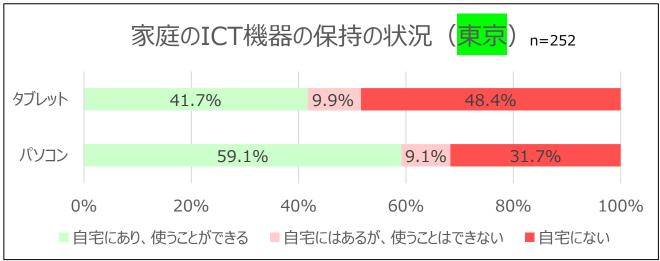


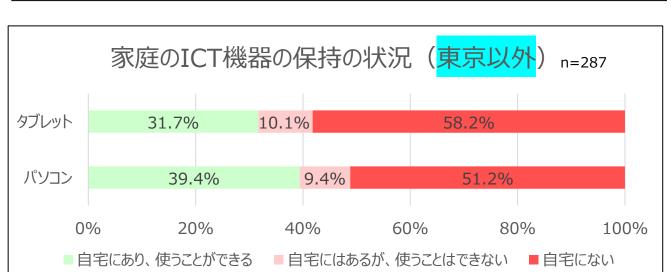
# 1-(1)家庭のICT機器の保持の状況



あなたのご自宅には、あなたが自由に使えるパソコンやタブレットがありますか

データ: 2020年7月初回調査 (毎月パネル調査対象者)





2020年7月時点で

自宅に使えるパソコンがない世帯は

東京

東京以外

3割

5割

自宅に使えるタブレットがない世帯は

東京

東京以外

5割

6割

で、パソコンよりさらに保有率が低い。



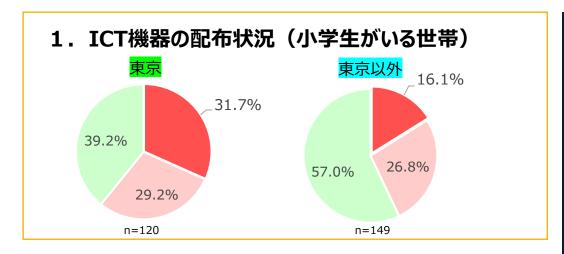
# 1-(2)学習用のICT機器の配布状況

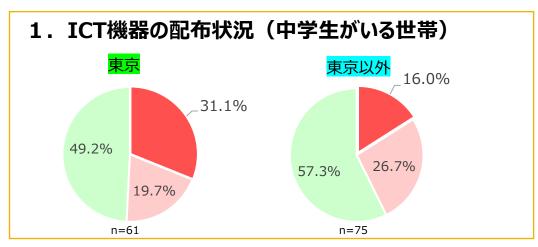
データ: 2021年2月パネル調査



文部科学省は、学校のICT(情報通信技術)環境整備として、児童生徒1人1台コンピュータを実現するGIGAスクール構想を推進しています。 お子さんが通っている学校では、あなたのお子さんに対して、タブレットやパソコンなどの端末が配られましたか。

- 1. すでに配られた 2. これから配られる予定と聞いている 3. わからない





2021年2月時点で ICT機器が 「すでに配られた」「これから配られる予定と聞い ているI世帯は

小学生がいる世帯

東京

東京以外

60.9% 42.9%

中学生がいる世帯

東京

東京以外

50.8% 42.7%



# 1 - (3)安心してICT機器を使うことができる環境

データ: 2021年2月パネル調査



タブレットやパソコンなどが配られて、困ったことや心配なことは何ですか。(※「すでに配られた」世帯)

## 【小学生の子どもがいる世帯】



(n=38)

機械を壊さないか心配

東京(38人中) 東京以外(24人中)

21人

18人

・機器が壊れる心配

(n=24)

- ・子どもが閲覧するサイト・どんな人とつながるか心配
- ・通信料、電気代の負担が心配
- ・機器の使い方がわからない(東京以外で特に多い)



# 1 - (3)安心してICT機器を使うことができる環境

データ: 2021年2月パネル調査



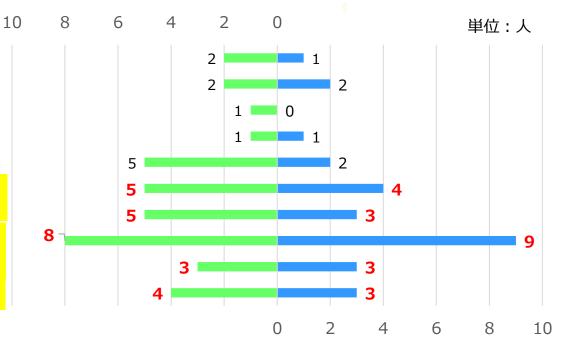
タブレットやパソコンなどが配られて、困ったことや心配なことは何ですか。

(※「すでに配られた」世帯)

## 【中学生の子どもがいる世帯】



- 2. ワイファイ (Wi-Fi) などインターネットへの接続機器がなくて困った
- 3. ワイファイ (Wi-Fi) などインターネットへの接続方法がわからなくて困った
  - 4. 親が自宅学習にかかわらなければいけない時間が増えて困った
    - 5. 子どもが端末でゲームをする時間が増えることが心配
      - 6. 子どもが端末でどんなサイトを閲覧するか心配
        - 7. 子どもが端末でどんな人とつながるか心配
          - 8. 機器を壊さないか心配
          - 9. 電気代がいくらかかるか心配
          - 10. 通信料がいくらかかるか心配



■東京 ■東京以外 (n=19) (n=12)

機械を壊さないか心配

東京(19人中) 東京以外(12人中)

8人

9人

- ・機器が壊れる心配
- ・子どもが閲覧するサイト・どんな人とつながるか心配
- ・通信料、電気代の負担が心配



## 1 - (3) 安心してICT機器を使うことができる環境

データ: 2021年2月パネル調査



## 親のコメント(自由記述欄より)

- **ログイン方法が何度も変わり、わかりづらい。**まだ、2年生なので、把握できていない。今までは自宅端末でログインしていたが、配布からまだ、1日で、**学校保管**の為、よくわからない。〔東京・小学生の親〕
- 学校からの指示でWord、Excelはダウンロードできない。たぶんネットも制限されていて繋がらない時があります。使用中これはダウンロードしてよいのか悪いのか判断に困る時があります。学校のブログをみても情報の発信が少ない。〔東京・小学生の親〕
- たまに週末持ち帰るが、課題などはない様子。**今後の活用予定がよくわからない**〔東京・小学生の親〕
- **タブレットを壊した時の為に保険に加入**するように学校から言われて、保険に加入した。**予想外の出費**になった。プリントに、もし**壊したとき、紛失したときの値段**が、其々書いてあった。**弁償するか、保険に加入**してくださいとも書いてあった。〔東京以外・小学生の親〕
- (ICT機器は) リモート授業の前日に持ち帰り、次の日には学校へ持参する。**普段は学校に保管**されており、授業で使っていないので、なんの役にも立っていない。学校を休んだ日など授業を家で受ければ欠席にならないと言うが、学校にあるので意味がない。〔東京以外・小学生の親〕
- **安く済ますためWi-Fiの利用制限がある契約**をしているため環境は良くない。オンライン学習をさせるなら Wi-Fi環境も整えて欲しい〔東京以外・中学生の親〕

配布されたICT端末の使い方

(学校のルール) がわかりにくい

今後の活用予定がわからないなど \_\_\_\_\_ 学校からの

## 情報の不足

機器が壊れた場合の

## 弁償・保険

個々の家庭が支出

普段は

## 学校に保管

家庭で使えない

家庭における

## 通信環境

接続料金·利用制限

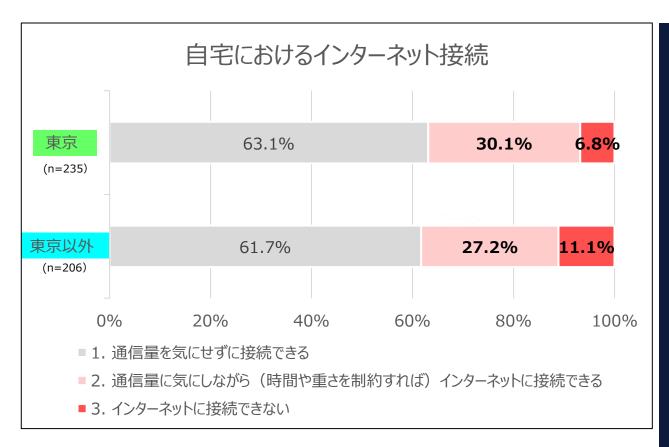


# 2-(1)家庭のインターネット環境の現状



あなたのご自宅では、インターネットに接続することができますか。

データ: 2021年2月パネル調査



## 3割の世帯は

通信料を気にしながら (時間や重さを制約しながら) 接続している

> 東京以外では そもそも

# 1割強

の世帯は 「インターネットに接続できない」

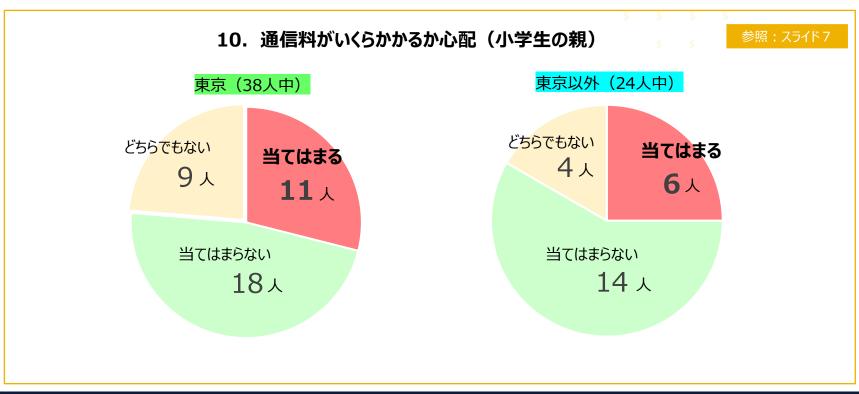


## 2-(2)通信料の負担

データ: 2021年2月パネル調査



タブレットやパソコンなどが配られて、困ったことや心配なことは何ですか。 (※「すでに配られた」世帯)



「通信料がいくらかかるか心配」(小学生の親)

東京(38人中)

東京以外(24人中)

11人

6人

約4分の1の世帯が 通信料の負担を心配している



# 2-(3)通信料負担に関する親の声

データ: 2020年8月~2021年3月パネル調査

### 【2021年2月現在「1. インターネットに接続できる」と回答した親】

- 自宅ネット授業に伴うWi-Fi料金(の支払いが大変だと思った)〔東京・2020年8月調査〕
- 通信費が自宅オンライン学習のため増えてしまい、大変です〔東京以外・2020年8月調査〕

【2021年2月現在「2. 通信量に気にしながら(時間や重さを制約すれば)インターネットに接続できる」と回答した親】

- **安く済ますためWi-Fiの利用制限がある**契約をしているため環境は良くない。オンライン学習をさせるなら Wi-Fi環境も整えて欲しい〔東京以外・2021年2月調査〕 (再掲)
- ネット環境がないからオンラインに参加してないんだーと子供が言われた。〔東京・2020年8月調査〕

### 【2021年2月現在「3. インターネットに接続できない」と回答した親】

- ネット環境を整えるまでのよゆうがないので、また、コロナ流行期のように休校になった場合、ネット環境がないと、**うちだけおくれてしまうかも**という、不安があるので、ネット環境を整えるような支援がほしい〔東京以外・2020年10月調査〕
- i P a d を支給されたが、インターネット環境が不整備の為、インターネットの契約をしなければならない。 〔東京以外・2021年2月調査〕
- i P a d を支給され現在は学校にて保管状態ですが、自宅でも使えるようインターネット回線の申し込みをした段階です。今後の支払いが増えるので不安です。〔東京以外・2021年2月調査〕
- Wi-Fiの接続料金が払えない〔東京以外・2021年2月調査〕
- ネット環境が無いのに (ICT端末だけを) 配られても困る〔東京・2021年2月調査〕

✓ インターネットに接続できる家庭環境があっても、通信料の負担が大きい

✓ 通信料の負担から 利用制限をしており、 オンライン学習がで きる家庭環境では ない

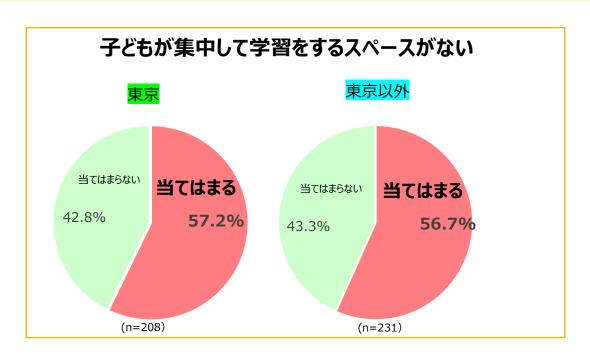
✓ インターネットに接続できる家庭環境にない、通信料が支払えない



# 3-(1)子どもの学習スペース



住宅の悩みや不安について、以下のことが当てはまるかどうか教えてください [子どもが集中して学習をするスペースがない]





### 親のコメント(自由記述欄より)

- 家賃が高い。ワンルームなので、個室がない。都営住宅に7年以上申し込んでいるが、まったく当選しない。〔東京・1月調査〕
- 勉強部屋が欲しいといわれる〔東京・1月調査〕
- 子供が多い(5人)が、金額的に小さい部屋しか借りられない。〔東京以外・1月調査〕
- 子供と住んでいる家が1Kで狭いのが悩みです〔東京以外・1月調査〕
- 間取りは満足しているが、エアコンがリビングしかない。年頃の子どもが四人(受験生含)いるので常に全員同じ場所にいるので勉強に 集中できていない。〔東京以外・1月調査〕

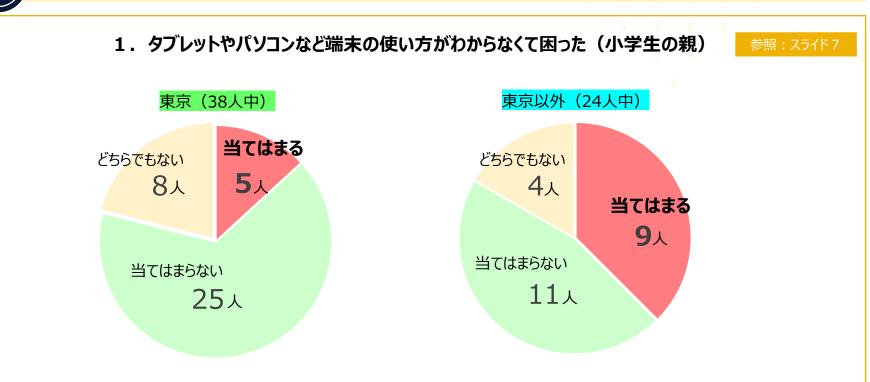


# 4 - (1) 子どもの学習サポート: ICT機器の操作サポート

データ: 2021年2月パネル調査



タブレットやパソコンなどが配られて、困ったことや心配なことは何ですか。(※「すでに配られた」世帯)



「タブレットやパソコンの使い方がわからなくて困った」(小学生の親)

東京(38人中)

東京以外(24人中)

5人

9人

親が使い方がわからないと、子ども に教えることもできない。

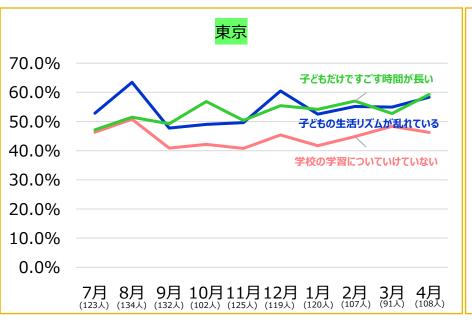
→ICT機器の操作サポートが必要

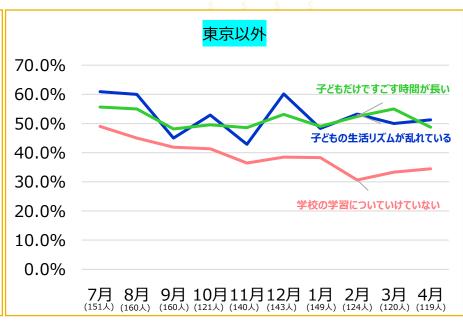


# 4 - (2)子どもの学習サポート:学習面の課題・生活リズム



「小学生の子どものことで、気がかりだったこと」(複数回答)月別推移





学校の学習についていけない小学生は 3割を超える (東京では直近で5割近い)

子どもだけですごす時間が長い小学生は 約5割 生活リズムが乱れている小学生は 約5割

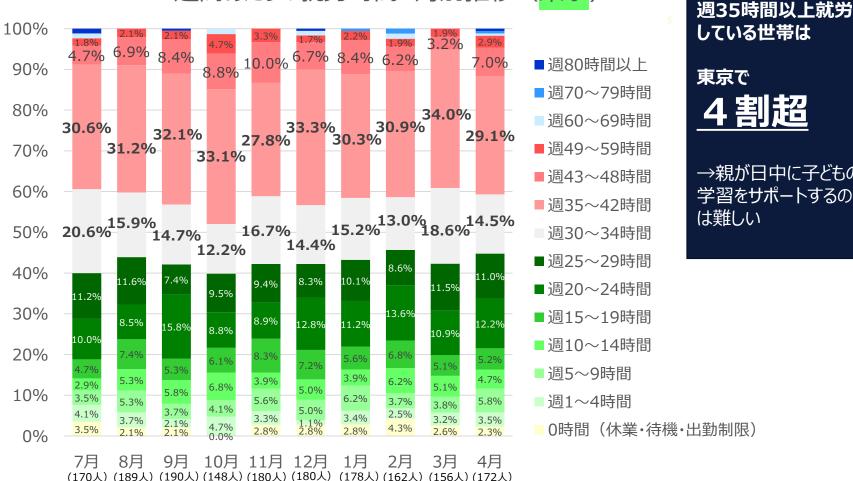
> 家庭でのオンライン学習を成立させるには、 子どもの生活リズムや学習をサポートする大人の力が必要

## (2) 子どもの学習サポート:親の就労時間の長さ



仕事時間は、1週間あたり、平均してどのくらいでしたか。 2つ以上の仕事をしていた人はすべての時間を合計してください。

## 1週間あたりの就労時間 月別推移



している世帯は

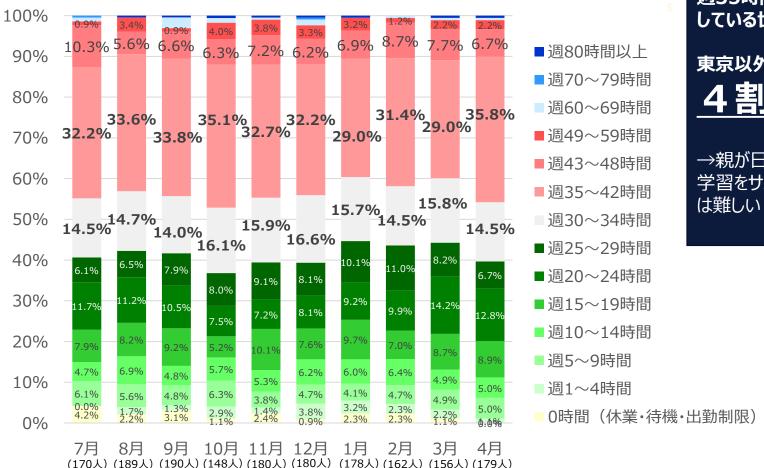
→親が日中に子どもの 学習をサポートするの

## (2) 子どもの学習サポート:親の就労時間の長さ



仕事時間は、1週間あたり、平均してどのくらいでしたか。 2つ以上の仕事をしていた人はすべての時間を合計してください。

## 1週間あたりの就労時間 月別推移



週35時間以上就労 している世帯は

東京以外でも

→親が日中に子どもの 学習をサポートするの

## 最新状況(2021年5月現在)一第4波の広がり



### 上記以外に、小学生のお子さんのことで、4月中に気がかりだったことがあれば教えてください

・ 昨年度から教科化された英語とプログラミングについていけません。週2回の英語は、導入とかではなく、今までの中学英語をそのまま小学生にスライドしている内容です。(一昔前の中1→小5、中2→小6) 教育指導要領の改訂は、勉強環境の整ったご家庭・基礎学力のあるご家庭・基本的生活習慣ができているご家庭のお子さんは伸びるかもしれませんが、教えられる人がおらず自分だけで学習させなければならないご家庭・事情のあるご家庭などはどんどんついていけなくなるのは明白です。英語もプログラミング算数も、積み上げの教科なので、一度ついていけなくなると、自信を失い、自力で取り戻すことは大変難しいと思います。うちの子も、「もう英語についていけないから、自分は高校にいけない」と言っていました。小学校の子どもに背負わせるのは重すぎます。(東京)



### 第4波の広がりを受けて、お子さんの学校生活や学習面で、どのような困りごとがありますか。 (小学生のいる世帯)

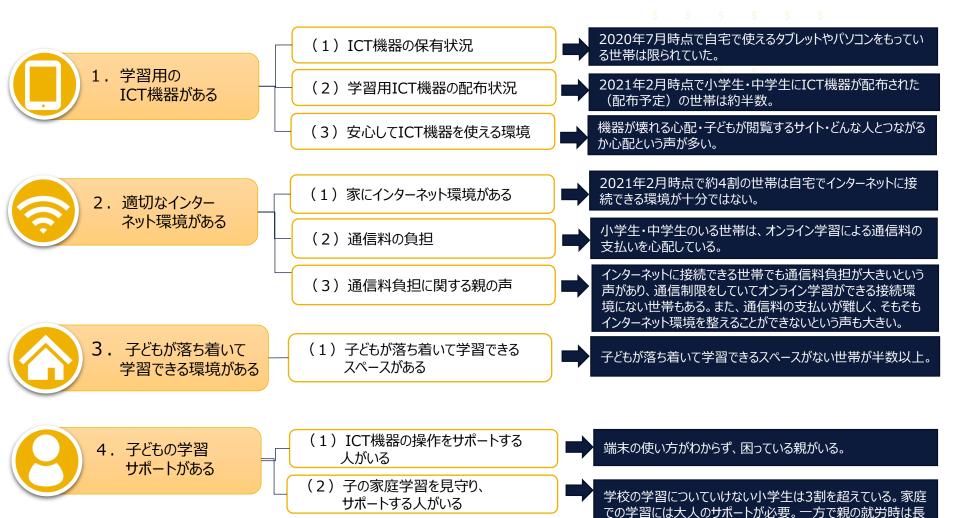
- オンラインでの宿題が多いため、学習面において、本当の子供の理解度が分からない点(東京)
- オンライン授業になるかもしれない。その場合仕事に行けなくなるので生きていけない。(東京)
- 今後学校の授業がなくなったら、狭い家で自宅勤務もしているので、非常に困る。またネット漬けになってしまい、私は勉強のフォローはできない。また、家にひきこもりとなると再開した時に行きたがらなくなるのではないか。(東京)
- Wi-Fi パソコンがなく、いつまで借りられるかわからない(東京)
- いまはまだ学校があるけれど、オンラインになった時に私は仕事なので自分たちで接続できるかどうか。また子供たちひとりひとりにはスマホ等ないのでオンライン 授業の時間がかぶらないか心配です。(東京以外)
- 学校が休みになった場合、勉強の遅れが心配です。もしリモートになったとしても、パソコンやタブレットを持っていません。(東京以外)
- 万が一休校になった場合はオンライン授業になりますが、Wi-Fiがなく、市からの貸与にお金がかかると聞いて不安に思っています。(東京以外)



### 第4波の広がりを受けて、お子さんの学校生活や学習面で、どのような困りごとがありますか。 (中学生のいる世帯)

- オンライン授業では学習の進みが遅いこと。自宅では、宿題等もなかなか手を付けない事が多く、学習に誘導すること自体がとても大変です。(東京)
- 自身も在宅なので、子どものオンライン授業での自宅の環境。(東京)
- 私達親子はオンラインは推奨派です。子供達にとっても最低でも2週間から1ヶ月位(最長でも夏休み前迄)はオンラインにすべきだと考えています。オンライン学習が始まりそうだが、端末とwiーfiが心配です。また食事が自宅だと給食が無いので栄養が心配なのでお弁当等考えていただきたいです。(東京)
- オンラインと言われた場合タブレットも無く、タブレットの貸与があっても壊れたりした場合の弁償があると不安(東京)
- 中学校でもタブレットを保管する棚は教室内にすでに設置されていますが、タブレットは入っていません。棚のみです。その棚の場所確保のため、子供たちの 席の間隔は全く余裕がなく(普段より狭くなってしまっています)、1クラス39名では密を避けられない状況です。(東京以外)

## 家庭でのオンライン学習を成立させるために~明らかになったこと~



く、子どもの学習サポートは難しい。

# すべての子どもの「学びの保障」のために(提言)

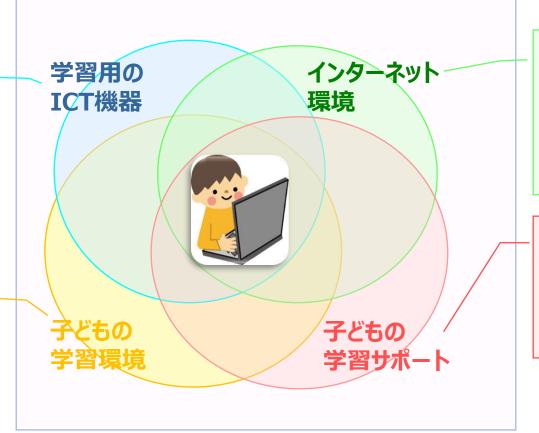
### 4つの必須要件

家庭でのオンライン学習を成立させるには、「学習用のICT機器」「インターネット環境」「子どもの学習環境」「子どもの学習サポート」のすべてがそろう必要がある。

多様な子供たちを誰一人取り残すことない教育ICT環境の実現に向けて、端末配布のみならず、それぞれの家庭が抱える多様な課題(ITインフラ・学習環境・学習サポート体制など)に対し、包括的な支援が必要である。

パソコン・タブレットを保有していないひとり親世帯がとても多いことから、機器の配布拡充は急務である。また、故障の際の費用負担を心配して親が子どもに積極的に機器を使用させることができない状況が生じたり、故障への備えとして保険料を自己負担させられることがないよう、故障に関する費用負担は機器配布とセットで保障される必要がある。

落ち着いて学習できる部屋が 自宅にない子どもたちには、学 校や、図書館・公民館などの 公共施設の開放など、学習で きる場所の提供が必要である。



収入の少ないひとり親世帯では、通信料の負担はとても大きく、オンライン学習に十分なネット環境を整えるのが困難な世帯も多い。 親の費用負担がない形での通信機器(Wi-Fi等)の配布拡充は急務である。

就労時間の長いひとり親世帯では、親が自宅で子どもの学習をサポートするのは難しい。親のサポートの有無で子どもたちに学習格差が生じないよう、学習支援体制を整える必要がある。

## 本レポートへのコメント 日本大学文理学部 教授 末冨 芳 様

### ▶2021年度中に解決できる課題とそうでない課題を峻別する必要がある

## 4つの必須要件

「家庭でのオンライン学習を成立させるには、「学習用のICT機器」「インターネット環境」「子どもの学習環境」「子どもの学習サポート」のすべてがそろう必要がある。」(p.20)

「学習用のICT機器」:端末のみなら2021年度上半期に配備完了、配布見通し。

「インターネット環境」: 自治体間格差が大きく、小学生に対しては操作が簡便なLTE端末とそうでない端末を配備した自治体のユーザビリティ評価が必要。コロナ前からの課題であり、オンライン環境につながるまでの環境・サポート整備と、それ以降の環境・サポート整備に分けて考える必要がある。

「子どもの学習環境」: 学校・社会教育施設・生涯学習施設などの開放は必要。

「子どもの学習サポート」:学校や社会教育施設など複数の大人の目で子どもを見守れることが、支援ニーズを発見したり虐待やオンラインを通じた大人との危険なつながり等を抑止するうえでは重要。

### 個別の不安や心配について

「機器を壊さないか心配」(p.7) →自治体が保障や弁済のルールについて十分な説明責任を果たすことが必要。

### ▶総合コメント

1人1台PCタブレットは、デジタル格差(Digital Divide)を改善するためには重要。ひとり親に限らず家庭間のレディネスや通信環境格差も大きい。個別の家庭の支援ニーズの把握と対処は学校責任になるが、その責任遂行を支える専門性を持った人員と予算保障が必要である。

そもそも日本の地方自治体には政府DX、教育DXに対応できる人材も少なく、官民連携による人的配置や採用・研修政策を通じた専門人材育成等については国の支援も必要である。

### シングルマザー調査プロジェクト 課題別レポート

### 家庭でのオンライン学習の課題 -GIGAスクール構想における「学びの保障」

2021 年 6月 11日 認定 NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ &シングルマザー調査プロジェクト

### シングルマザー調査プロジェクト(五十音順)

赤石千衣子 認定NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ 理事長

五十嵐光 広報コンサルタント/特定非営利活動法人ウィメンズアイ

石本めぐみ 特定非営利活動法人ウィメンズアイ 代表理事/特定非営利活動法人「人間の安全保障」フォーラム 理事

大崎麻子 特定非営利活動法人 Gender Action Platform 理事/関西学院大学客員教授

葛西リサ 追手門学院大学地域創造学部准教授

小森雅子 認定NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ 事業担当

高橋聖子 インクルラボ代表/プログラム評価コンサルタント

深川紗絵子 インクルラボ研究員

藤原千沙 法政大学大原社会問題研究所教授

湯澤直美 立教大学コミュニティ福祉学部教授

お問い合わせ先 シングルマザー調査プロジェクト事務局 E-mail:

single.mama.pj@gmail.com

プロジェクトに関する情報:

https://note.com/single\_mama\_pj

協力:シングルマザーサポート団体全国協議会